

がん化学療法指示書

登録番号 375

作成日 2023/3/22

レジメン名	CBDCA+PEM+デュルバルマブ+トレリムマブ療法
診療科・対象疾患	(呼)切除不能な進行・再発の 非扁平上皮非小細胞肺癌
投与間隔	3週毎
投与サイクル数	4コース

Chemo Navi

薬剤名	成分名	投与量	投与日
イジユド	トレリムマブ	75mg/body	Day1
イミフィンジ	デュルバルマブ	1500mg/body	Day1
ペムレキセド	ペムレキセド	500mg/m ²	Day1
カルボプラチン	カルボプラチン	AUC 5(MAX6)	Day1

	滴下順	抗癌剤	薬剤(成分名)	投与量	時間	投与方法	投与スケジュール					
							day1	day21
治療内容	注射	Rp1	生理食塩液	100mL	任意	ルート確保・フラッシュ用	●					
		Rp2	癌 イジユド(トレリムマブ)	75mg/body	60分	点滴静脈メイン	●					
			生理食塩液	100mL								
		Rp3	生理食塩液	50mL	15分	経過観察用	●					
		Rp4	癌 イミフィンジ(デュルバルマブ)	1500mg/body	60分	点滴静脈メイン	●					
			生理食塩液	250mL								
		Rp5	生理食塩液	50mL	15分	経過観察用	●					
		Rp6	パロノセトロン注(0.75mg)	1袋	15分	点滴静脈メイン	●					
			デキサート注(6.6mg)	1瓶								
		Rp7	癌 ペムレキセド	500mg/m ²	10分	点滴静脈メイン	●					
	生理食塩液	100mL										
		総量100mLにする										
Rp8	癌 カルボプラチン	AUC 5(MAX6)	60分	点滴静脈メイン	●							
	生理食塩液	250mL										
その他必要薬剤	<ul style="list-style-type: none"> イメンド(アブレピタント)125mg:1cap分1 ルートキープ時に内服(day1) イメンド(アブレピタント)80mg:1cap分1 朝食後に内服(day2,3) デカドロン(デキサメタゾン)4mg:2錠分1 朝食後に内服(day2,3) 葉酸:1日1回0.5mg(バンピタン末1g)を初回治療の7日前から服用し、最終治療21日後まで連日服用 ビタミンB12:1mg(メチコパール500μg 2A)を初回治療1週間前および以降は9週間毎に筋肉注射、その後ペムレキセド最終投与日から22日目まで9週毎に筋注 											
総投与時間	4時間											
血管外漏出リスク	イジユド(トレリムマブ):非壊死性抗がん剤 イミフィンジ(デュルバルマブ):非壊死性抗がん剤 アリムタ(ペムレキセド):非壊死性抗がん剤 カルボプラチン:炎症性抗がん剤											
投与時の注意事項	ペムレキセドはNSAIDsとの併用注意(ペムレキセドの血中濃度が増加し副作用が増強される可能性がある) イジユド(トレリムマブ)、イミフィンジ(デュルバルマブ)はフィルター付きルート要											
備考欄	<p>Infusion Reaction Grade2の場合、イミフィンジ(デュルバルマブ)あるいはイジユド(トレリムマブ)の投与を直ちに中止する。1時間以内に回復する場合には、投与速度を50%減速して再開する。</p> <p>Infusion Reaction経験例では、次回より投与30分前に以下薬剤で前処置を行う。 レスタミンコーワ10mg 5錠 アセトアミノフェン300mg 2錠</p> <p>4コース目まで3週間間隔。維持療法移行後は4週間間隔。 4コース目まで当レジメン実施。その後、ペムレキセド+デュルバルマブ維持療法。維持療法2回目投与時のみイジユド(トレリムマブ)も投与。 トレリムマブの投与は維持療法を含めて合計5回まで。</p>											